



パック連通信

事務局：山梨県大月市御太刀 1-2-10

No.124 2023年5月15日発行
全国牛乳パックの
再利用を考える連絡会

TEL. 0554-22-3611

ひまわり・環境寄席に協力

4月27日に林家カレー子主催「第2回ど根性ひまわり環境寄席」が開催されました。

今回も、パック連として後援させていただき、牛乳パック10枚持参の来場者に渡すためのトイレットペーパーの提供や当日配布のパンフレットに寄稿させていただきました。

3月下旬にもカレー子さんがかかわる「エコアップ協議会」の勉強会に招かれ、そこで牛乳パックリサイクルの現状をお話ししました。カレー子さんは昨今の牛乳パックの回収率の低さに驚かれ、何とか今回のイベントを通して、牛乳パックを集めることの意義をしっかり伝えたいと意気込んでいました。

今年も牛乳パックの回収協力を山田洋治商店さんが買って出てください、お二人での記念撮影となりました。



平井 成子 全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 代表



第2回ひまわり環境寄席の開催、心よりお喜び申し上げます。
林家カレー子さんには、日頃より牛乳パックリサイクルへのご理解ご協力をいただき、大変感謝しております。
牛乳パックリサイクルは、1984年に亡き母が「上質な紙が使われている牛乳パックを捨てるのはもったいない」と回収運動を始めたことを機に全国に広がり、その翌年「全国牛乳パックの再利用を考える連絡会」を発足いたしました。1992年には、牛乳パックリサイクル製品をもっと利用していただく目印として「牛乳パック再利用マーク（パックマーク）」を決めました。昨年パックマーク誕生から30年を迎えたことを記念して、オリジナルトイレットペーパーを制作しましたが、本日牛乳パックをご持参の皆様方にお配りしています。

お使いになって、再生トイレットペーパーが純パルプ製品と変わらない品質であることをご実感いただければと思います。トイレットペーパーは「落し紙」といってリサイクルできない紙製品ですので、純パルプ100%のトイレットペーパーを使うことは、何年もかかって成木となった木から取り出したパルプを1回で流してしまうことになり、もったいない話です。今再び純パルプ製品がシェアを伸ばしていますので、改めて再生トイレットペーパーへの理解を深めていただけたら幸いです。

さて、牛乳パックリサイクルの現在の状況ですが、こちらも残念ながらピーク時に比べ6%も回収率が減少しています。コロナの影響もありますが、そのほかに学校給食用牛乳パックの回収率が激減したことや、リサイクル義務を負うべき排出事業者（乳業及び紙パック製造メーカー）の関心度が低くなっていることも原因となっています。また、ご家庭でまな板や廃油処理に利用して廃棄されたり、昨今のキャンプブームで、火おこしの着火剤代わりに燃やされたりもしていて、結果10万トン（30億枚）強の上質な紙資源が廃棄され焼却されています。

この量で5億個余のトイレットペーパーができるというのに、資源がない日本はなんてもったいないことをしているのか?と思いません。どうか引き続き、皆さまの牛乳パックリサイクルへのご協力を切にお願いいたします。

最後になりましたが、ひまわり環境寄席のご盛況と林家カレー子さん、ご一門のご活躍、そしてお集まりの皆さまのご多幸をご祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。



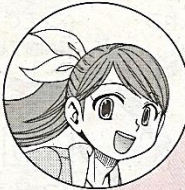
スタッフ出入口
前に物を置かないでください



ひまわり環境寄席は環境・防災・防犯啓発を目的としています。

5月5日発行山梨日日新聞の
子ども新聞に紹介されました。

登場キャラ紹介



ハル

小学4年生。双子の姉。しっかり者のお姉さん気質だが、そっかしいところも。運動神経が良く、スポーツが大好き。



ノブ

ハルの双子の弟。博学で、動植物が好き。心優しく、そっかしいノブを支える。甘いものとかわいいうのが大好き。



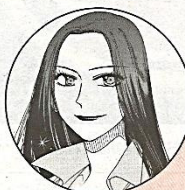
カンタロウ

人の言葉を理解することができる申猫。ハルとノブにヒントを示してくれる。ヤマモトさんの飼い犬らしい…。



ヤマモトさん

ハルとノブの前に時々現れる謎のイケメン。現代の文化に興味津々。見た目はクールだが、結構天然。



ヒメ

秘宝探しをサポートしてくれる謎の女性。明るく面倒見がいい。ヤマモトさんと何やら深いつながりがあるらしい…。



次回18日に掲載します

■社会を見るレンズ

「牛乳パックは社会を見るレンズ」。これは、平井さんがよく話していた言葉だよ。

牛乳パックは使った捨て社会の象徴であり、牛乳という飲み物からも、社会のさまざまな問題を見ることができる、という意味で言っていたんだ。

牛乳パックのリサイクルのほかにも、最近

環境に配慮した取り組みがどんどん広がっているよ。スーパーやコンビニエンスストアのレジ袋は有料化され、マイクロプラスチックが大きな問題となつてからはプラスチック製のストローを使わないところも増えているよ。再利用も大事だけど、その前に、ごみを減らすように包装を簡略化する取り組みも進んできているんだね。

みんなは身近なところで、どんな環境への配慮をしているかな？



ハルとノブと 甲斐の秘宝

75

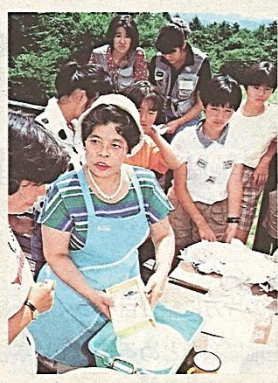
清水 アイ

2020年4月のある日、甲斐犬カンタロウから「甲斐の秘宝探し」の密命を受け取った小学生の双子ハルとノブ。県内各地を巡り、山梨の文化・歴史や環境・産物の価値に触れてきました。今年も秘宝探しを続けることになった2人はどんな魅力を発見するでしょう。

■平井初美さん

みんなは普段、牛乳を飲んだ後の紙パックを洗ってリサイクル（再生利用）しているかな？ 実は、この取り組みを確立したのは、大月市の平井初美さんだったんだ。昔、紙パックは使い捨てが当たり前。資源として再利用できても、においやカビの発生などを理由に受け入れが進まなかつ

たんだ。平井さんは牛乳パックで紙すきをしたり、自治体向けに講演をしたり、仕組みをつくるために一生懸命に動き回ったんだよ。持続可能な開発目標を表すSDGsはみんなも知っているよね。その先駆けとなる活動をした人が山梨の人だと知ると、リサイクルや分別をもっと頑張ろうという気持ち湧いてくるね。

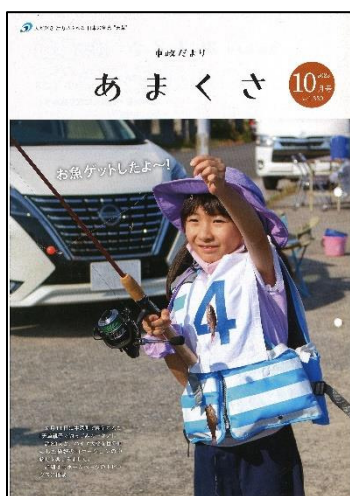


子どもたちに牛乳パックを原料にした紙すきを表演する平井初美さん（左から2人目）＝北杜市内、1990年撮影、平井成子さん提供

天草市で学校給食用牛乳パック回収を開始

熊本県天草市では、令和3年から学乳パックリサイクル実施への検討を重ね、現在市内10校の小中学校で取り組んでいます。

学校において、生徒自身で学乳パックを洗浄し乾燥すること、学校で一定期間保管すること、独自ブランドの再生トイレットペーパー「あまくさトレパー」を作って、自治体をはじめ再生品をしっかりと購入していくこと、これらの集めて使うシステムを根気強く提唱し実現させたのが、田中商店（株）の田中利和社長です。田中商店はびん商ですが、1987年頃から熊本市の福祉事業所が回収する牛乳パックの受け皿となって、現在びんも牛乳パックも古紙も取り扱っています。さらに福祉事業所の仕事づくりの観点から「あまくさトレパー」の販売を福祉事業所が行う仕組みにするなど、環境教育、福祉、グリーン購入といったSDGsの実践例をとっています。



回収された資源物は
新たな製品に
生まれ変わります



回収された資源物は、新たな製品の原料として使用されています。洗うことが面倒で、燃やせるごみとして処分しがちな牛乳パックですが、リサイクルすることで、トイレットペーパーやティッシュペーパーなどに生まれ変わります。

市内の小中学校では、給食の牛乳パックのリサイクルに取り組んでおり、現在10校が参加しています。令和3年度に回収された牛乳パックは約4.3トン。牛乳パックを再利用して作られたトイレットペーパーの一部は、今後市内の小中学校に配布する予定です。

※1リットルの牛乳パック6枚でトイレットペーパーを1個作ることができますと言われています。



天草市は市政だよりあまくさ2022.10月号に学乳パックリサイクルの取り組みを紹介しています。

市内の中学生がデザインしたあまくさトレパーのレッテルには、天草の各地の名所が描かれていて、製作はパックマークメーカーの大分製紙（株）です。エコマークのほかパックマークも表示されています。

あまくさトレパー

令和3年度にトイレットペーパーの包装デザインを市内の小中学生に募集し、多数の応募の中から新和中学校2年（当時1年）の浦田真央さんの作品が選ばれました。



家庭だけでなく事業所でも、意識して取り組むことによりごみを減らすことができます。「段ボールを繰り返し使う」「過剰包装を控える」「コピー用紙は両面使う」など、ごみが出ないように工夫することも大切です。将来に負担をかけないためにも、一人ひとりが今日からできることに取り組みましょう。

ぜひご覧ください

市公式YouTubeチャンネル「天草Cityチャンネル」のDo!☆あまくさ☆14話で「事業所から出るごみ」について詳しく紹介しています。



市公式 YouTube チャンネル▲

◎パック連通信は、ホームページにも掲載しています。画像などカラーで見ることができますのでホームページの方もご覧ください。

◎牛乳パックリサイクル・牛乳パック再利用マークについてのお問い合わせは

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 / 牛乳パック再利用マーク普及促進協議会

TEL.0554-22-3611

FAX.0554-56-9216

E-mail info@packren.org

ホームページ <http://www.packren.org>

〒401-0012 山梨県大月市御太刀1-2-10